

PHP 練習問題. 10 ファイルアップロード

(1). ブラウザからファイルをサーバーへアップロードする

- form からファイルを選んでアップロードすることができます。form タグを下記のように書きます。

```
<form method="post" action="./action.php" enctype="multipart/form-data">
  <input type="file" name="userfile">
  <input type="submit" value="送信">
</form>
```

- PHP では、`$_FILES` という連想配列で、アップロードしたファイルの情報を取得することができます。

<https://www.php.net/manual/ja/features.file-upload.post-method.php>

`$_FILES['(form の name 属性の値)']`

`$_FILES['userfile']` ←'userfile'は input タグの name 属性の値

<code>\$_FILES['userfile']['name']</code>	送信元の PC 上でのファイル名
<code>\$_FILES['userfile']['type']</code>	ファイルのタイプ(image/jpeg など)
<code>\$_FILES['userfile']['size']</code>	ファイルのサイズ (バイト)
<code>\$_FILES['userfile']['tmp_name']</code>	サーバー上でのファイル名
<code>\$_FILES['userfile']['error']</code>	エラーコード

- サーバーにアップロードされたファイルは、サーバー上のテンポラリのディレクトリに一旦保存されますが、セッションが終了すると（PHP のプログラムが終了すると）消えてしまいます。

- ファイルが消える前に、別のディレクトリへ移動させる必要があります。
move_uploaded_file()というメソッドを使って、任意のディレクトリへ移動します。

move_uploaded_file

move_uploaded_file — アップロードされたファイルを新しい位置に移動する

説明

move_uploaded_file (string \$filename , string \$destination) : bool

この関数は、filename で指定されたファイルが (PHP の HTTP POST アップロード機構によりアップロードされたという意味で) 有効なアップロードファイルであるかどうかを確認します。そのファイルが有効な場合、destination で指定したファイル名に移動されます。

<https://www.php.net/manual/ja/function.move-uploaded-file>

例)

PHP のファイルと同じ階層の images ディレクトリに、PC 上と同じファイル名をつけて移動します。同じファイル名があるときは上書きされます。

```
$path = './images/' . $_FILES['image_file']['name'];  
move_uploaded_file($_FILES['image_file']['tmp_name'], $path);
```

__DIR__ という定数を使って、PHP ファイルがあるサーバー上の絶対パスを取得できます。(「__」はアンダースコア 2 つです)

```
$path = __DIR__ . './images/' . $_FILES['image_file']['name'];  
move_uploaded_file($_FILES['image_file']['tmp_name'], $path);
```

※ アップロードできるファイルのサイズは、PHP の設定ファイルで制限されています。この練習問題のプリントの最後の方を御覧ください。

設問1. index.html から画像ファイルをアップロードして、action.php で保存してください。ただし、action.php と同じ階層に「images」というディレクトリを作成し、そちらへ保存することとします。

action.php ではファイルを移動するだけで、何も表示しなくても構いません。

- index.html

ファイル選択前

画像のアップロード

画像ファイルを選択してください

選択されていません

ファイル選択後

画像のアップロード

画像ファイルを選択してください

IMG_4996.JPG

送信ボタンを押したあとに、ファイルが指定ディレクトリにあることを確認します。



設問2. index.html から画像ファイルをアップロードして、action.php で保存してください。さらに、action.php で、アップロード先にある画像ファイルを img タグを使ってすべて表示してください。

手順

- (1). 画像を保存してあるディレクトリの中のファイル名を配列で取得します。

scandir

scandir — 指定されたパスのファイルとディレクトリのリストを取得する

<https://www.php.net/manual/ja/function.scandir.php>

- (2). 取得した配列の要素には、ディレクトリ (「.」や「..」) mac の「.Ds_Store」など、通常ファイル以外のものが含まれます。それらを除外し、ファイルのみを取得します。「.」から始まるファイルを検索します。

preg_match

preg_match — 正規表現によるマッチングを行う

下記の表記で「.」から始まるファイル名にマッチさせることができます。

```
preg_match('/^./', $file)
```

is_file

is_file — 通常ファイルかどうかを調べる

<https://www.php.net/manual/ja/function.is-file.php>

- (3). 取得したファイルを順に img タグを使って表示します。

- 画像のアップロード

画像ファイルを選択してください

ファイルを選択 IMG_4996.JPG

送信

-
- Panel 1: Penguin asks "How long will I live?" and "How long will I live?" while looking at a calendar.
- Panel 2: Penguin looks at a calendar and says "I'll live for a long time" and "I'll live for a long time".
- Panel 3: Penguin is shown from behind with a halo, saying "I'll live for a long time" and "I'll live for a long time".
- Panel 4: Penguin is shown from behind with a halo, saying "I'll live for a long time" and "I'll live for a long time".

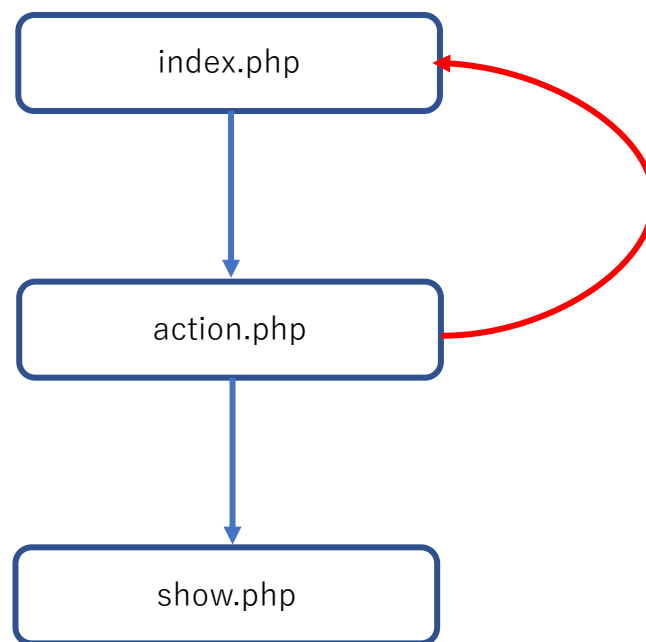
5

設問3. (チャレンジ問題)

設問2を改良して、Progateの「jQuery 学習コース 上級編・スライドを作ろう」を参考に、アップロードした画像ファイルをスライドで表示できるようにしてみましょう。

<https://prog-8.com/jquery/study/3/1#/0>

下記のフローを参考にしてください。



- index.php
form から画像を選択して action.php へ POST します。
- action.php
ファイルアップロードでエラーがあったときは、セッションにエラーメッセージを代入して、index.php にリダイレクトします。リダイレクト先の index.php で、エラーメッセージを表示します。
- show.php
PHP で画像の一覧を取得し、jQuery を使ってスライドとして表示します。

- index.php

画像のアップロード

画像ファイルを選択してください

ファイルを選択 選択されていません

送信

[一覧を見る→](#)

アップロードに失敗したとき

画像のアップロード

画像のアップロードに失敗しました。

画像ファイルを選択してください

ファイルを選択 選択されていません

送信

[一覧を見る→](#)

- show.php

アップロードされた画像の一覧

← 前へ

次へ →



1

2

3

4

5

6

7

←もどる

(参考 1)

ファイルアップロードに失敗したことは、エラーコードを取得することで判別できます。

```
$_FILES['image_file']['error']
```

エラーなしのときは、エラーコードは「0」になります。

<https://www.php.net/manual/ja/features.file-upload.errors.php>

(参考 2)

アップロードできるファイルのサイズは、PHP の設定ファイル (php.ini) で設定されています。Windows の XAMPP の場合は

C:\xampp\php\php.ini

です。テキストエディタで編集できます。編集後は Apache を再起動してください。

設定に関する箇所は下記のとおりです。

✓ **upload_max_filesize**

アップロードできるファイルの最大のサイズを指定します。

(例)

upload_max_filesize = 32M

✓ **post_max_size**

POST するデータの最大サイズを指定します。最大サイズのファイルをアップロードするときは、upload_max_filesize よりも大きな値にする必要があります。

(例)

post_max_size = 32M

✓ **memory_limit**

PHP が使用するメモリの最大サイズです。POST されたデータは一旦メモリに置かれます。post_max_size よりも大きな値にする必要があります。

(例)

memory_limit = 128M